

事務局だより

- 7月3日 理事会
 - ①情報物流委員会よりパソコン教室について
 - ②厚生委員会より行事予定
 - ③交通安全委員会より団地内事故状況について
 - ④会館運営委員会より会館予約状況について
 - ⑤変革実行委員会よりC I中間報告について
- 7月9日 情報物流委員会
 - ①パソコン教室(入門コース)の実施状況について
 - ②ホームページ作成の方法について
- 7月14日 新入社員フォローアップ研修
「コミュニケーションの方法」
- 7月22・23日 変革実行委員会
- 8月3日～25日 パソコン教室(入門コース) 第3期
- 8月4日 理事会
 - ①労務委員会より介護休業制度セミナーについて
 - ②情報物流委員会よりパソコン教室、ホームページ作成の件について
 - ③交通安全委員会より団地内違法駐車取締り報告
 - ④変革実行委員会より地域スローガン発表「といやまち、創って魅せる目きき街」
 - ⑤厚生委員会より行事予定
- 8月5日～20日 景況調査
- 8月6日 情報物流委員会
 - ①パソコン教室(入門コース)の実施状況について
 - ②楽しいホームページの作り方について
- 8月10日～12日 日帰り人間ドック
- 8月17日～21日 成人病予防検査
- 8月21日 労務管理セミナー
「介護休業制度」の導入について
- 8月25・26日 変革実行委員会
- 9月1日～3日 健康診断
- 9月2日 財務金融委員会
 - ①運転資金転貸について
- 9月4日 理事会
 - ①総務委員会より組合員脱退の件(丸石自転車(株))
 - ②財務金融委員会より運転資金転貸の件について
 - ③建設委員会より案内板修繕の件について
 - ④企画事業委員会より景況調査報告
 - ⑤厚生委員会より行事結果と予定
- 〃 企画・事業委員会 正副委員長会
 - ①中堅幹部社員研修会アンケート結果について
 - ②カーリース事業について
 - ③高速道路事業の利用車輛について

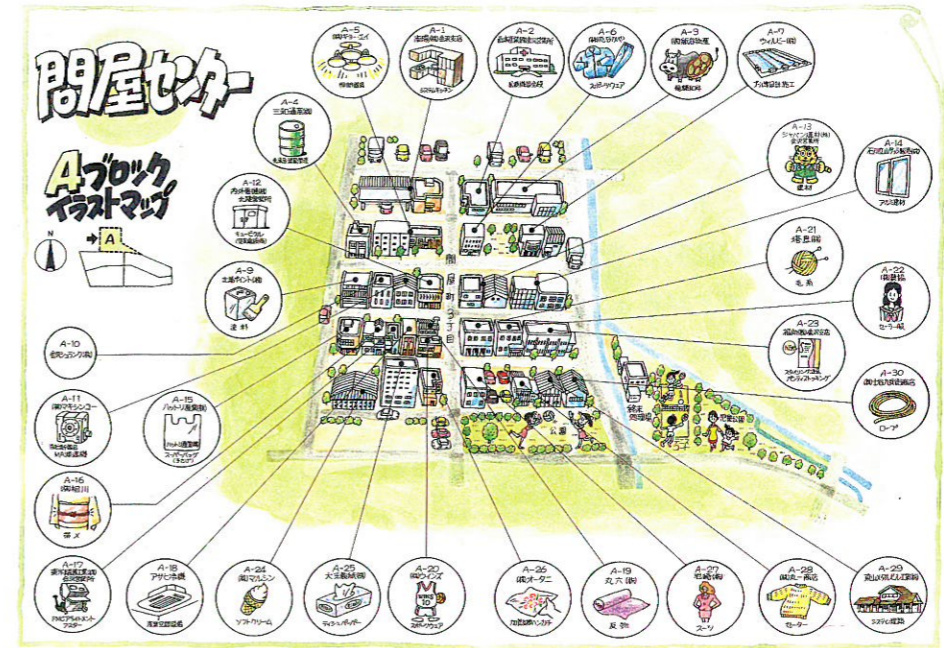
- 9月4日 情報物流委員会 正副委員長会
 - ①ホームページ作成の今後の推進方法について
 - ②パソコン教室(仮称:応用コース)の実施について
 - ③楽しい資金計画表の作り方について
- 9月7日 景況調査の集計結果報告
- 9月8日 会館運営委員会
 - ①後期の予約状況について
- 9月11日 企画事業委員会
 - ①中堅幹部社員研修会について
 - ②カーリース事業について
- 9月16日 理事会
 - ①運転資金転貸事業に係る後順位担保設定に関する件
- 9月17日～12月3日 きもの着付け教室
- 9月21日 企画事業委員会 正副委員長会
 - ①中堅幹部社員研修会の提案について
- 9月28日 情報物流委員会
 - ①ホームページ作成講座(第1回)
- 9月28・29日 変革実行委員会
- 10月1日 企画事業委員会 正副委員長会
 - ①中堅幹部社員研修会の内容案について
 - ②共同駐車場の冠水について
- 10月5日 理事会
 - ①企画事業委員会より組合駐車場冠水の件
 - ②情報物流委員会よりパソコン教室について
 - ③厚生委員会より行事予定
 - ④交通安全委員会より団地内違法駐車取締り報告
 - ⑤変革実行委員会より委員会組織改革案
- 10月5日 情報物流委員会
 - ①ホームページ作成講座(第2回)
- 10月9日 企画事業委員会 正副委員長会
 - ①中堅幹部社員研修会の内容案について
- 10月12日 情報物流委員会
 - ①ホームページ作成講座(第3回)
- 10月13日 労務委員会
 - ①労働事情実態調査について
- 10月19日 建設委員会
 - ①団地内一斉清掃について
- 〃 厚生委員会 打合せ
 - ①11月3日(火・祝)開催のゴルフ大会について
 - ②2月13日(土)～14日(日)開催のスキーツアーについて
- 〃 厚生委員会
 - ①第11回ゴルフ大会の詳細について
- 〃 情報物流委員会
 - ①ホームページ作成講座(第4回)
- 10月20日 広報委員会
 - ①次号について
- 10月26・27日 変革実行委員会
- 10月30日 情報物流委員会
 - ①ホームページ作成講座の反省について

金沢問屋センターニュース

1998.12

No.72

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎237-8585 ●発行者/宗廣満夫



変革実行委員会の委員長として

(協)金沢問屋センター 副理事長
変革実行委員会 委員長 伊藤 淳蔵

金沢問屋センター30周年の節目として、宗廣理事長の指針を基に発足した委員会です。名称の如く今までのままだけではなく、21世紀に注目され指示されるエリアをめざし色々として試行錯誤しています。

「変わらなければならない」を合い言葉に実行するためのワーキンググループを結成、CIワーキンググループ、組合組織改革ワーキンググループ、物流・情報ワーキンググループ、新業態開発ワーキンググループ、そして商品開発ワーキンググループを作りそれぞれのグループリーダーを中心として活発にディスカッションを重ねております。

特に、CIワーキンググループに関しては自分自身も思いがこもっております。何故かと言いますと、何年前、金沢に在籍する大学で金沢問屋センターのイメージ調査をしました結果、「暗いイメージで且つ周囲にパチンコ屋が沢山在る地域」と表現されたことがありました。それ以来この地域のイメージを一言で言うと「注目されるホットなエリア」にしなければならないと望んでおりました。抽象的な表現は出来ても具体的な提案がしにくく、色々として模索した結果、自分なりのまとめは、このエリアに勤務する人達の皆さんが金沢問屋センター内の会社に勤務していることを誇りに思えるようにする事ではないでしょうか。

「美人は見つめられる事によって作られる」言葉の如く、他の地域の人達から注目され、視察、見学に訪れていただけるようなソフトやハードを兼ね備える事だと思います。具体例として、それぞれの企業を指導したり他の企業との情報交換などをサポートしバックアップ出来る機能を備えるなど、また鑑賞する公園でなく、人が集い、楽しめるアクションが感じられる場所にしてはどうか……。

締めくくりとして、掛け声ばかりでなく、小さくても、少しでもよいから実行する事だと思います。

最後に、キーワードが決定しておりますのでご報告しておきます。

「といやまち、創って 魅せる 目きき街」

すなわち、ここには情報が豊富にあり、川上機能と川下機能も備え持ち、卸は勿論、多機能に亘ってプロフェッショナルの集団によるマーケティングが出来るエリアであると要約させていただきます。

組合委員会再編

平成11年4月よりスタート

団地完成30年を経過し、その間流通も大きく変化、それに対応し、組合、組合員が更なる発展を目指す為、総会時に活性化策を報告書にまとめ提言致しました。

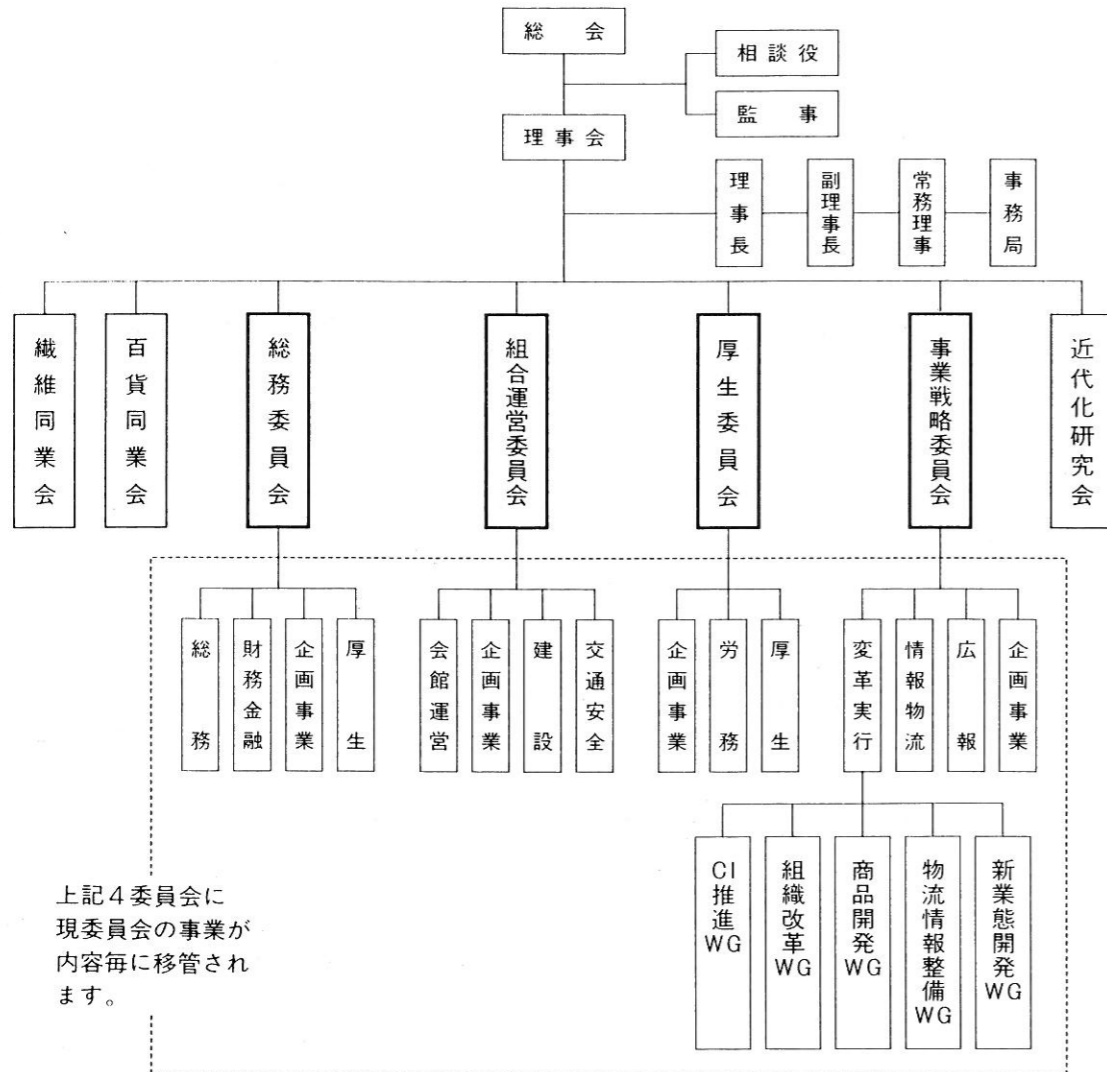
その提言のポイントは、組合全体の活性化を図る為、①シティアイデンティティの確立を図る為、組合ネーミングと団地全体の整備 ②委員会の再編、又、組合員個々の活性化を図る為 ①中間機能強化のグループ ②川上機能強化の新商品開発のグループ ③川下機能強化の新業態グループを組織し、この3グループは、希望者により現在活動を続けてお

ります。

組合全体の活性化のうちC Iは来年3月を目処に現在作業を進めておりますが、委員会再編につきましては、変革実行委員会で種々検討、理事会で審議の結果、来年4月より新委員会でスタートすることに決定致しました。

従来は、全員参加の10委員会で組織されておりましたが、これを4委員会に集約し、より活発な委員会とする為、委員は公募とし、1委員会10名程度と積極的に活動する少数精鋭で構成し、総務、組合運営、厚生、事業戦略の4委員会となります。

新組織図



上記4委員会に現委員会の事業が内容毎に移管されます。

近代化研究会 '98 東京・横浜流通視察

近代化研究会(荒木 徹代表幹事)では11月11・12日の両日、流通先進地の視察として東京・横浜へ行って来ました。ここに参加者のレポートを紹介します。

近代化研究会 ビジョン委員会 委員長
丸西食品工業株 常務

西谷 隆

《目的》

めまぐるしく時代が変化する中、前年のアメリカ視察に引き続き継続的に流通の先進地を視察することにより、企業経営に必要な時代変化を的確に捕らえる視点や感覚を身に付けることを目的としました。また、地域の特徴を活かした近代的な街を視察し、問屋センターのこれからの街づくりの参考にしました。

《日時・視察場所》

1998年11月11日(木)～11月12日(木) (1泊2日)
東京(日本紙パルプ商事殿、オフィスDEPOTほか)
横浜(みなとみらい地区、横浜ベイサイドマリーナほか)

《参加人数》 10名

《視察内容》

「日本紙パルプ商事殿訪問研修(東京・神田)」
「流通商社における情報化の現状と今後の展開」について、J P 殿情報部門を訪問し、営業・物流・経理の各部門に効果的に運用される情報システムのポイントをご説明いただき、またコンピュータールームも見せていただきました。



「オフィスDEPOT(東京・五反田)」

昨年のアメリカ視察でも訪れたオフィスDEPOTの日本一号店を視察しました。



「横浜みなとみらい地区(横浜・桜木町)」

横浜ランドマーク、クイーンズスクエア内のショッピングモールなどを散策し、みなとみらい地区の最先端のインターコンチネンタルホテルにて宿泊しました。また、夜は中華街にて懇親会を行い、問屋センターの将来について語り合いました。

「横浜ベイサイドマリーナ(横浜・金沢区鳥浜)」

鳥浜にマリーナとアウトレットショップを併設したショッピングタウンとして誕生したアウトレットショップを視察しました。

《感想・考察》

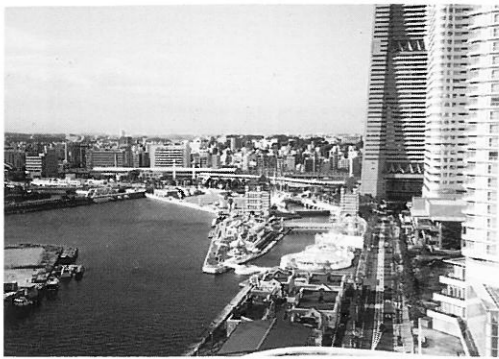
まず、今回の視察のねらいとして企業の情報化への取り組みについて実際の現状を見たいということで、越原副委員長の紹介で日本紙パルプ商事殿を訪問させていただきましたが、大きな商社といえどもわれわれの一步先を試行錯誤しながら時代の流れに沿って前進しているという印象でした。言い換えれば、われわれも努力すれば世の中の競争に加わっていけるが、努力しなければますます弱体化すると感じました。

オフィスDEPOTは予想に反して静かな雰囲気の中で苦戦しているという印象でした。特に印象に残ったのは、港町横浜の特徴を活かした2つの街です。1つは都心部に近く近代的な街並みを基本としながら買う・遊ぶ・憩う・働く・学ぶなどの要素を複合したみなとみらい地区で、さすが大都市横浜という印

象です。方や横浜ベイサイドマリーナは、アメリカな港町という雰囲気を上手に創り出した中に、衣料・雑貨・シューズ・食料品ほか生活関連のファクトリーアウトレットショップやレストランを配置している郊外型の楽しめる街になっているという印象です。

どちらの街もたいへんにぎわっており、問屋センターの街づくりにもたいへん参考になりました。

当ビジョン委員会は、次年度も企業訪問を含めた視察研修を継続していきたいと考えております。ありがとうございました。



近代化研究会 ビジョン委員会 副委員長
三和通商(株) 常務

北村 理治

1998年11月11・12日と、1泊2日に亘り、近代化メンバーと共に東京・横浜の流通視察に出向いた。

初日は、神田の「日本紙パルプ商事」殿を訪れ、同社の販売及び社内ネットワークに関する現在のOAシステムを説明頂いた。社内においては、イントラネットの活用により各人の情報収集の効率化を掲げていた一方、各人1台あるが為に無駄な(遊びで)

利用をする人が多く、そのジレンマにあるとのことであった。また、各メーカーにより不統一の品番を、業界の協力を得て、OA上(流通上)での番号の統一化を成功したことによって、以前より格段にOA化が進み、在庫管理・出荷指示・販売先との営業に格段の効果を得た、ということには興味深いものがあった。

その後、五反田の「オフィスDEPOT」を訪問。予想に反して、小規模で、品揃えがいまひとつであった。オフィス街に立地していることから、近隣の企業を客層と考えてのことかと思えた。一行は宿泊先の横浜「インターコンチネンタル」へ向かう。周囲は、建設中の物件が多数散在し、当地においてはパブル時さながらであった。その日の夜は、中華街「聘珍楼」にて楽しい晚餐を頂き、長い横浜の夜を過ごした。

翌日、昨日の疲れもさながらに、数名はスッキリとお目覚めのような日であった。その日は、「横浜ベイサイドマリーナ」を視察。アウトレット店のオープンマーケットというイメージ以上に、観光バス他、平日にもかかわらず多数来客であった。アウトレット商品は、その立地に際し、通常販売店との遠隔化等多数の制約があるようだが、北陸にもその発想が導入される日は近いと感じた。

今回は首都圏ということもあり、時代の最先端若しくは、今後北陸にも訪れるであろう商売感覚を学んだ2日目であった。



糸生(株) 常務 小阪 将 充

《日本紙パルプ商事を訪問して》

日本紙パルプ商事を訪問、そこで、業務における情報ネットワークの導入による情報伝達の必要性和今後の課題などについて非常に興味深い話を聞くことが出来た。私なりに考えさせられることも多々あり、とても有意義な研修だった。

製紙業界においては「メーカー」「販売店」「物流」などが「VAN(バン)」および「P-EDI (ペディ）」といったコンピューターネットワークによって必要な情報を相互に交換し、業務や流通の段階で役立てている。同社においても、早くよりシステムを導入してネットに対応している。システム導入によるメリットとしては、大量の情報を迅速かつ確実に扱えること、業者間とのスムーズな連携、業務における時間と労働力、コストの軽減などが挙げられる。

ただしシステム運用のためには、連携する各業者も同様のシステムを導入していなくてはならない。今後は、業界におけるシステム導入の普及率が特に重要と思われるが、システムの導入については、規模にもよるがまず多額の出費をとまなう。また、現段階では、細かい指示等については未だ電話などに頼らなくては行けない等の制限や問題点も確かにいくつか存在する。

今後は、オフコンに変わって現在もどんどん高性能で安価になっていくパソコンの活用が考えられ、小規模経営の企業にも取り入れられてくると思われる。



さらに、同社では、社内間においてもコンピューターを使っての情報伝達を行っている。すべての社員に1台ずつ端末が与えられ、「仕入」「売上」の状況から「顧客管理」「製品情報」「社内広報」、電子メールを用いた社員間の情報伝達など、各端末から誰もが自由に様々な情報を手に入れることが出来るようにしている。また、それを扱う為の社員教育にも力を入れ、各種の研修やセミナーを行うなど、システムの活用に力を入れている。

現在は情報化社会である。仕事に携わるものにおいて「迅速、確実、安全」というテーマは、その職種、時代を問わず、今も昔も、そしてこれからも恐らく変わらないだろう。しかし、そのテーマに要求される意味の質と量は今後どんどん変わっていくと思われる。「より速く、より確実に、より安全に」それに答える為、大量の情報の処理、伝達、共有は、現代を生きる我々にとって益々重要である。

その為、コンピューターの活用は今後益々必要とされるだろうし、また、より身近になっていくだろう。

当社でもすでに導入しているが、もし、これからコンピューターを導入するならば十分に配慮すべきだ。

まず使いやすく、実際の業務に本当に役立つシステム環境づくり、(機械やシステムに振り回されては意味がない。)それを扱う側の育成、等については充分考察して行わなくては行けないだろう。



新しい貸し渋り対策がまとまりました

【中小企業等貸し渋り対策大綱】
(平成10年8月28日閣議決定)より

＜新しい対策の趣旨＞

「貸し渋り」は依然として解消しておらず、中小企業等の資金調達環境は一層厳しくなっています。そこで政府では、総額で40兆円を超える貸し渋り対策を行うことになりました。是非ご活用ください。

＜対策の概要①＞ 中小企業の方々のために……

民間金融機関からの事業資金の借入れの際に、あなたの企業に対する「保証」が、より受けやすくなります。

- 都道府県などの「信用保証協会」が、あなたの企業の借入れを、従来よりも積極的に保証します。(10月1日から公布・施行)
 - ・「信用保証協会」は、政府からの補助金を受けて、都道府県などのレベルで運営されている協会です。
 - ・また、政府の出資する「中小企業信用保険公庫」の積極的な支援を受けています。
 - ・今回は、従来とは別枠の特別会計を設けて、より積極的な運営を目標とします。また、あなたの企業を保証するにあたっての「保証料率」をより引き下げます。
- 担保がなくても保証を受けることができる額が増えます。
 - ・「信用保証協会」があなたの企業の保証をするにあたって、通常は担保を必要としますが、①物的担保を必要としない「無担保保証」制度、②物的担保だけでなく保証人も必要としない「特別小口保証」制度があります。
 - ・①無担保保証制度の保証限度額を、5000万円まで引き上げます。(従来は、3500万円まで)
 - ・②特別小口保証制度の保証限度額を、1000万円まで引き上げます。(従来は、750万円まで)
 - ・なお、不況業種などに指定されている企業には、①1億円まで、②2000万円まで、と通常の倍額を保証します。

中小企業金融公庫や国民金融公庫、商工組合中央金庫からの融資が受けやすくなります。

- ・貸し渋り対策として、担保などの融資条件を緩やかにしたり、既存の債務の返済を猶予するなどのご相談をお受けします。

また、上記機関から、過去に受けた融資の金利が一部免除されることがあります。

- ・過去、5%以上の金利で借入れた融資について、5%を上回る分の金利を減免します。(既に実施されており、10月18日より1年間延長します。)

＜対策の概要②＞ 中小企業以外の方々のために……

日本開発銀行、北海道東北開発公庫からの融資が、受けやすくなります。

- ・貸し渋り対策として、「非設備資金」に関する融資を拡充し、原材料資金なども含めた広い資金需要に対応してまいります。また、全国各地でご相談をお受けする窓口を拡充します。

＜お問い合わせ先＞

◇保証に関して

全国信用保証協会連合会 03-3271-7201 (業務部)
 中小企業信用保険公庫 03-3270-2371 (総務部)

◇融資に関して

中小企業金融公庫 03-3270-1260 (特別相談窓口)
 国民金融公庫 03-3270-4649 (東京相談センター)
 商工組合中央金庫 03-3272-6111 (総務部広報室)
 日本開発銀行 03-3244-1900 (総務部)
 北海道東北開発公庫 03-3270-1659 (業務部)

※日本開発銀行、北海道東北開発公庫では、債務保証も利用可能です。

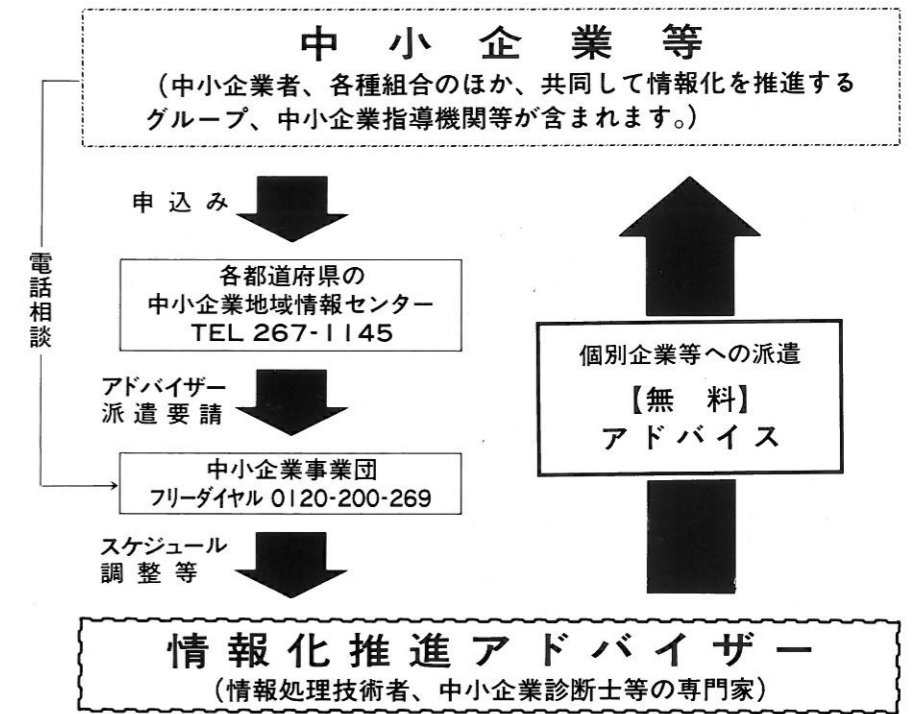
◇新貸し渋り対策全般に関して

中小企業庁 03-3501-4667 (「中小企業対策相談窓口」)
 大蔵省 03-3581-7686 (大臣官房政策金融課)

コンピューター西暦2000年問題に対応していますか? 専門家による無料アドバイス

各都道府県の中小企業地域情報センターが窓口となり、西暦2000年問題に関する各種相談を受け付けているほか、中小企業事業団と連携して専門家の無料派遣を行っています。

また、中小企業事業団では相談窓口で専門家を常駐させ、電話による相談を受け付けているほか、各都道府県の中小企業指導団体との共催による無料セミナーも開催しております。



(協)金沢問屋センター 第11回 ゴルフ大会

11月3日、片山津ゴルフ倶楽部山代山中ゴルフ場において、第11回ゴルフ大会が開催された。

			G	H	N
優勝	矢嶋 正男	北 島 (株)	106	34.8	71.2
準優勝	富木 誠一	富木医療器(株)	97	25.2	71.8
第3位	高桑 幸一	(株)キョー・エイ	84	12	72
第4位	茨木 喜幸	川上産業(株)	87	14.4	72.6
第5位	石川 立夫	(株)キョー・エイ	85	10.8	74.2
第7位	篠原伸次郎	山 和 (株)	89	14.4	74.6
第10位	山田 修三	北陸ペイント(株)	93	18	75
第15位	岡田 和男	(株)ヤギコーポレーション	89	13.2	75.8
第20位	安宅 猛	ジャパンプレミアム(株)	98	21.6	76.4
第25位	紺田 威	北陸通信工業(株)	88	12.8	77.2
第30位	高桑 健治	(株)キョー・エイ	97	19.2	77.8
第35位	松村 克雄	尚和印刷(株)	93	14.4	78.6
第40位	杉本 正一	石 織 (株)	114	34.8	79.2
第45位	渡辺 達雄	ジャパンプレミアム(株)	92	12	80
第50位	英 浩三	川上産業(株)	109	25.2	83.8
ブービー賞	山田 竜治	カナカン(株)	118	30	88
ベスト賞	川崎 晃	川 崎 (株)	79		



■ニアピン賞 (OUTスタート組)

- 生田 圭右 (株) 加賀 絹 4番
- 中田 文夫 ナカダ (株) 7番
- 辰川 伸一 北陸通信工業(株) 12番
- 松村 克雄 尚和印刷(株) 16番

■ニアピン賞 (INスタート組)

- 朝井 正範 富木医療器(株) 4番
- 岡田 和男 (株)ヤギコーポレーション 7番
- 沖野 秀樹 富木医療器(株) 12番
- 篠原伸次郎 山 和 (株) 16番

■ドラゴン賞 (OUTスタート組)

- 吉河 智之 川上産業(株) 9番
- 長瀬 祐二 富木医療器(株) 18番

■ドラゴン賞 (INスタート組)

- 伊藤 淳蔵 (株)アイネックス 9番
- 茨木 喜幸 川上産業(株) 18番